

運営委員会

平成28年3月22日(火) 広島市において、山下当連合会会長をはじめ24名出席のもと、第3回運営委員会を開催した。会議では平成27年度重点事業の実施結果報告後、平成28年度事業計画(案)について審議。大綱承認された。(同事業計画は6月15日開催の総会で決定される予定。)



平成28年度事業計画(案)の重点事業

※下線太字は平成28年度新規事業

1. 地域産業の振興

(1) 「ものづくり産業」の競争力強化

地域の基幹産業である製造業の競争力強化を図るため、生産現場の自動化、研究基盤の強化、生産拠点の機能強化に対する支援等に取り組む。

- ① 行政・企業・NPO法人等との連携による中小企業への自動化コンサル、ロボット導入・開発の支援に向けた技術支援センターや人材プールを整備。
- ② 中国地方が空白地帯となっている公的なスーパーコンピューターの導入に向けて、企業・研究機関のニーズや導入効果等の調査を実施し、関係機関と連携して政府等への要望を継続。
- ③ 企業における多様なIT技術活用の支援に向けて、IoT、インダストリー4.0等の導入状況や課題について調査・分析し、取り組みの方向性を検討。
- ④ 中国地方の生産拠点のマザー工場化の現状把握を行い、今後マザー工場に求められる機能やその整備方策等を検討し要望に反映。
- ⑤ 中国地方の景気動向や、経済・産業・社会分野での注目事項などについてアンケート調査を実施。
- ⑥ 中国地方各県の産業振興の取り組み状況等を把握し、広域的な産業振興に係る課題を整理。産業振興の観点から政府等に対し、提言・要望を実施。

(2) 次代を拓く新たな産業の創出

地域の次代を拓く新たな成長産業の創出に向け、産学官連携の強化を通じたイノベーションの推進に取り組む。

- ① 中国地域コラボレーション会議等を活用し、感性工学、医工連携の分野での広域連携を旨とした支援を実施。
- ② 膜分離技術活用に対する新たな企業ニーズの発掘を行い、事業化に向けて大学や膜メーカーとのマッチングを推進。
- ③ 「ひろしま自動車産学官連携推進委員会」と連携し、石油の有効活用や将来の代替液体燃料開発の研究を支援。基礎研究への助成等について政府等への要望を継続。
- ④ 大学間、異分野・異業種間での広域連携推進に向けて、中国地域イノベーションシンポジウム、先進的取り組み機関・企業との意見交換会等を開催。
- ⑤ 新規事業の展開に資するビジネスネットワークの強化・利用促進について調査・検討。
- ⑥ 医療・航空・エネルギー関連分野等、成長分野を中心とした事業進出・拡大に資する講演会・視察会を開催。
- ⑦ 放送と通信の連携に関する研究会において、メディア連携による新規事業創出・企業間連携や新サービスの展開等に繋がる講演会・研究会を開催。

(3) “山陽”“山陰”ブランド育成による観光産業の振興

山陽、山陰地方のDMO設立を新たな契機として、山陽・山陰のブランド育成に向けて中国地方が一体となったインバウンド観光、広域観光の推

進に取り組む。

- ① 中国地方インバウンドフォーラムの開催や中国・台湾・香港・タイ・シンガポールの現地旅行会社へのプロモーション、現地メディアを通じた情報発信など、「中国地域観光推進協議会」が実施する取り組みへの支援・連携を強化。ブランド育成に向け「せとうち観光推進機構」「山陰インバウンド機構」等とも連携し中国地方一体となって広域観光を推進。
- ② 外国人観光客の中国地域内周遊に関する市場調査を実施し、関係機関（中国地域観光推進協議会、観光関係の行政や民間事業者）への提言を実施。
- ③ 中国地方の観光産業の課題と解決策に係る調査を実施し、政府・関係機関への提言・要望を実施。
- ④ 首都圏在住者から見た中国地方の観光地の実態と魅力に関する調査を実施し、関係機関へ情報提供。
- ⑤ 観光まちづくり、中国地方の認知度向上を図るため、「夢街道ルネサンス推進会議」や「中国地方風景街道協議会」活動を継続実施。

(4) 低廉で安定的なエネルギーの確保

産業活動の基盤となる低廉で安定的なエネルギーの確保を図るため、経済成長と両立するエネルギー・環境政策の促進に関する方策の検討および提言活動に取り組む。

- ① 小売全面自由化など電力システム改革が本格化する中、低廉で安定的なエネルギー確保の観点から、エネルギーミックスの実現に向けた取り組みなどエネルギー政策の動向および産業界への影響に関して調査・検討。
- ② COP21で採択されたパリ協定を受け、低炭素化への対応が重要になる中、地球温暖化対策計画など環境政策の動向や企業の取り組み状況および産業界への影響に関して調査・検討。
- ③ 「水素・次世代エネルギー研究会」への参画などを通じ、次世代エネルギー・低炭素化技術に係る開発動向に関して調査・検討。
- ④ エネルギー政策・温暖化対策・次世代エネルギー等に関する講演会・視察会を開催。

- ⑤ 前記の調査・検討などを踏まえ、エネルギーミックスの実現に向け政府等への提言を実施。

2. 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進

(1) 中山間地域の再生と都市の機能強化

人口減少・少子高齢化社会に対応できる中国地方を創生するため、中山間地域の再生、都市間連携による都市機能強化に向けた環境整備・支援に取り組む。

- ① TPPの影響を踏まえて農業の成長産業化（6次産業化、農産品輸出等）について調査し、農産品の付加価値向上、海外輸出増進に向けた環境整備の促進について行政・関係機関への提言・要望を実施。
- ② 中山間地域等における地域づくりの先進事例について、講演会やホームページの活用による情報共有化を推進。
- ③ 人口のダム機能を発揮できる都市間の広域連携の実現に向け、行政・地域の経済団体と連携して中海・宍道湖・大山圏域の連携事業に対する支援の充実について政府等への提言・要望を実施。
- ④ 子どもを生み育てやすい環境の整備やIJUターンの促進を図るため、行政による地方版人口ビジョン・総合戦略の実施状況をフォローし、施策の評価・改善への参画を通じ行政の取り組みを促進。
- ⑤ IoT・ビッグデータを活用した地域特性に応じたまちづくり、新たなサービスの創出等について検討。IoTを活用したまちづくりの先進事例等の講演会・研究会を開催。

(2) 広域的な連携・交流を促進するネットワークの整備

地域産業・観光の振興、広域的な地域間連携・交流の促進のため、地域の基幹道路、拠点港湾・空港が一体となった交通・物流基盤の整備促進やICTの利活用に取り組む。

- ① 山陰自動車道や下関北九州道路等の幹線道路網の早期整備、道路・港湾等の老朽化対策の計画的実施について、関係機関とも連携し政府等への要望を実施。

- ② 中国やまなみ街道（中国横断自動車道尾道松江線）の全線開通に伴う地域への波及効果・影響調査（最終報告）をとりまとめ、地域振興、交流圏拡大等に資する利活用促進策の関係機関への提言を実施。
- ③ 山陰自動車道の早期整備に向け、沿線地域への波及効果・影響に関する実態調査を実施し、今後の要望活動へ活用。
- ④ 「中国地方国際物流戦略チーム」の意見をとりまとめ、重要港湾を核とした物流網等の整備充実に向け、政府等への要望を実施。
- ⑤ 拠点港湾の物流機能強化、観光振興に関する実態調査を実施し、関係機関に対し情報提供。
- ⑥ 中国地方の広域的な交流・連携基盤としての空港機能を高めるため、関係機関と連携し、民営化の検討が進められている広島空港等の利活用促進に関する調査・提言を実施。
- ⑦ 行政・関係機関と連携し、高度道路交通システムの具体化・実用化に向けた検討などICTの利活用を促進するための活動（ITS研究会・電子行政研究会等）を推進。

（3）地域の活性化に資する行財政制度等の構築

自立的・機動的な地域経営を行う観点から、地方分権改革の推進、地方分権型道州制実現に向けた環境整備を進めるとともに、税財政など行財政制度に関する検討・要望活動に取り組む。

- ① 地方分権改革・道州制に関する政策動向、ならびに行政による広域連携の取り組みを把握。地方分権推進、分権型道州制実現に向けた環境整備のあり方を検討のうえ、政府等への提言・要望を実施。
- ② 行政・他経済団体等と連携し、地方分権改革や広域連携のあり方等に関する講演会の開催による分権型道州制の実現に向けた機運醸成の促進。
- ③ 製造業の国際競争力の維持・強化など、地域経済の発展に資する税制改革等について政府等への提言・要望を実施。合わせて、地域のニーズを踏まえ中小企業の事業承継等に関する提言・要望を実施。

- ④ 財政再建、税制改革、社会保障制度改革等に関する講演会を開催。

3. 地域社会を支える人づくり

（1）産業振興を支える人材の育成

地域産業の担い手となる人材を確保するため、ものづくり産業を支える高度な技術・技能を有する人材や次世代層の育成・確保に向けた支援に取り組む。

- ① 大学・行政と連携し、インターンシップの拡大・広域化、地域特性に応じた仕組みづくりを継続。
- ② 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された「観光振興による地域創生に向けた人材育成事業」（広島市立大学）の協働機関として、観光文化委員会と連携し地域の観光振興に貢献する人材育成を推進。
※COC+：Center of Community 文部科学省事業
- ③ 中小企業の創業・新事業展開支援のため、大手企業の現役・OB人材等を活用したインストラクター養成を支援。
- ④ 次世代の経営層、プロフェッショナル人材（システムインテグレーター、データサイエンティスト等）の育成を支援。
- ⑤ チャレンジ精神・起業家精神に富む人材育成を目的に開催するキャンパスベンチャーグランプリ中国の裾野拡大、学生向け教育を強化充実。

（2）多様な人材の活躍推進の支援

多様な人材の能力や経験を活用した豊かな地域づくりに向けて、女性や海外人材などの活躍推進に向けた環境整備に取り組む。

- ① 女性活躍推進法に基づく事業主行動計画による取り組みを支援する観点から、講演会の開催や取り組み事例の周知など会員に対する啓発活動を実施。
- ② 海外人材の活用拡大に向けて、医療・介護分野のほか海外の専門人材が活躍できる職域の拡大について調査・検討のうえ、必要な規制緩和等について提言・要望を実施。

（担当：草田）